

わたし  
No. 151  
出会う  
気がつく  
つながる

# 「私が大切にしていること」

関灘 綾さん 高平幼稚園教職員

## 子どもたちの姿から

毎朝、子どもたちが「おはよう」と声を掛けあう姿を見ると、私自身も子どもたちから元気をもらっていると感じます。欠席している子がいると「今日はどうしたの？」と思いを寄せ、その子が後日登園してくると「先生、〇〇ちゃん、来てくれてよかったね」と嬉しそうに話をしてくれま

## 日々の保育の中で

ある日の給食時間のこと、なかなか食が進まず、困った表情をしていたAさんの横でBさんが「どうしたの？お腹痛いの？」「あと少しだから頑張つて。終わったら一緒に遊ぼう」と声をかけていました。私は「Bちゃんが応援してくれてうれいね」と話し、二人の様子が見守りました。Bさんは「Aちゃんすごい！少し食べられたね」と、そつと声をかけています。Bさんに励まされるのがうれしかったのか、Aさんの表情も次第に変化していききました。そして全部食べ終わると、「先生、Aちゃん頑張つたよ！すごいね！」と笑顔で私に知らせに来てくれました。私は「Aちゃん、よく頑張つたね。Bちゃんがいっぱい応援してくれてからうれしかったね」と話すと「うん」と笑顔で答えてくれました。



私はAさんの表情を心配し、食べるペースに合わせてさり気なく声をかけながらAさんの気持ちに寄り添っているBさんの姿を見てみると、私自身が周囲の人に対して、相手

の気持ちに寄り添いながら接することが本当に出来ているだろうかと考えさせられました。私はAさんの嬉しかった気持ちをBさんに伝えるとともに、Bさんの優しさをしっかりと認めてあげました。

## 「ありがとう」の言葉

Cさんは、周囲に対していつも「ありがとう」と声を掛けてくれます。そんなCさんが製作活動の後の画用紙を集めて私の所へ持って来てくれました。「先生、紙持ってきたよ」と言ってくれたCさんに対し、私はCさんの顔を見ずに「あつ、そこに置いていてね」とだけ伝え、思わずハツとしてしまいました。そしてすぐに「ごめんね、Cちゃん、お手伝いしてくれてありがとう。助かったよ」と今度はCさんの顔をしっかりと見て伝えました。Cさんは笑顔で頷いてくれました。

## 自分にできること

「相手の気持ちを考えることができる仲間作り」を大切に保育していく中で、AさんとBさんのような友達に対する温かいかわりを見つけた時は、クラスの中でも子どもたちに伝えるようにしています。そして、その場は自分自身を見つめなおす大切な機会であると感じます。

また、日頃時間に追われている「ありがとう」の言葉が形だけになってしまったり、言いきけなかったりしている自分がいることにも気付きました。「ありがとう」という言葉を相手に言われると温かい気持ちになります。Cさんとかかわりの中で、これに気付かされ、子どもたちと接する中で、自分自身が相手の気持ちを考えた伝え方、言葉が使えるのかを振り返ることもできました。

子どもたちは素直な心で周りの人の姿を感じ取り取っていきます。だからこそ、日々の保育の中や生活の中で子どもたちや周囲の人の思いにしっかりと心を寄せることができるようにこれからも自分を磨いていきたいと思っています。

## 市民の主体的な「人権の学び」をサポートします！！

人権について「学び」を重ねることはとても大切なことです。学びを重ねることの一部を三田市人権を考える会が支援します。あなたが「よりよく生きるために」そして「幸せになるために」三田市人権を考える会のサポート事業をご活用ください。

### 結 サポート事業

人権の学習グループをつくってみませんか？

《対象》2人以上の自主学習グループ  
《内容》人権にかかる自主学習グループの学習経費（講師料、バスレンタル料、交通費、印刷代、消耗品代、入館料、会場費など）の半額（上限3万円）を補助します。※グループの登録申請が必要です。

### 学 サポート事業

講師をまねいて人権学習をしませんか？

《対象》三田市人権を考える会加盟組織・団体およびPTA・企業など。（市立幼稚園、小・中学校は補助対象外）  
《内容》人権に関する学習の経費（講師料、交通費、印刷代、消耗品代、会場費など）の半額（上限3万円）を補助します。

### 逢 サポート事業

人権を学びに出かけませんか？

《対象》三田市人権を考える会加盟組織・団体およびPTA・企業など。（市立幼稚園、小・中学校は補助対象外）  
《内容》人権に関する施設などの視察・交流学習の経費（バスレンタル料、交通費、通送料、入館料など）の半額（上限4万円）を補助します。

◎人権学習や視察研修等のご相談は、市人権推進課（4面上）までお気軽にご連絡ください。  
※いずれのサポートも、飲食費用は対象になりません。

## 「三田マダン」が開催されました！

5月29日（日）三田市総合文化センター郷の音ホール駐車場で「第6回三田マダン（主催：三田マダン実行委員会）」が開催されました。マダンとは、韓国朝鮮語で「広場」を意味します。ステージでは民族舞踊や楽器演奏、歌などの発表、会場内のブースでは様々な国の料理や飲み物、民芸品などの屋台が出店されました。

自分らしく生きることの素晴らしさを発信し、人は一人ひとり輝ける存在であることを確かめ合い、人と豊かにつながり合うことの大切さを感じられる場となりました。



言葉の力は私たちが考えるよりもずっと大きいものです。言葉によつて救われ、励まされ…。一片の言葉との出会いが、私たちの人生を素晴らしいものに変えてくれる可能性を秘めています。言葉の力が私たちの「生きる力」の源になり、苦境に負けず強く生き、豊かな人生をつくり上げることにできるのかもしれない。

### 編集後記

言葉は使い方次第で幸せを呼ぶものにも、人を傷つけるものにもなります。せつかならば、幸せになるような言葉を使いたいです。誰かを幸せにするような言葉を届けたいものです。

「助けてあげるよ。」と声かけしました。児童から返ってきた言葉は「僕らも大人の人が倒れていたら助けるよ。」でした。この言葉に感動を得るとともに、大人が子どもを助けるものだという先入観・固定観念、上から視線を持つていたのだと気づき、大いに反省をしました。

人と人との交わりは、姿、形、性、学歴、生まれ育ちなど関係なく、同じ目線で接していくことが人権擁護に結びつくということを感じました。

※今後も編集委員の体験談を紹介していきます。

人権擁護委員による定例人権相談…6月23日（木）  
問い合わせ・相談希望者は、人権推進課へ（559-5148 FAX 563-7776）